

テレメータ		
取扱説明書	専用回線 符号品目	形式
	50 bps モデム	MOD1

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

- ・ モデム（本体+ソケット） ..... 1 台

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

## ご注意事項

### ●供給電源

- ・ 許容電圧範囲、電源周波数、消費電力  
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。  
交流電源：定格電圧 85 ~ 132 V AC の場合  
85 ~ 132 V AC、47 ~ 66 Hz、約 4 VA  
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合  
24 V DC ± 10 %、約 2.5 W、約 105 mA

### ●取扱いについて

- ・ ソケットから本体部の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および回線を遮断して下さい。

### ●設置について

- ・ 屋内でご使用下さい。
- ・ 塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・ 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・ 周囲温度が -5 ~ +50℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

### ●配線について

- ・ 配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

### ●その他

- ・ 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

### ●本器を使用する場合に、次の点を確認して下さい。

- ・ 本器に接続する機器  
本器は弊社製モデムインタフェース（DLS、SMDM、22LS1 など）との接続用に設計したものであり、他社製品との接続は行わないで下さい。  
本器は、通信パルス幅を制限しますので 50 bps より高速の通信パルスを出力できません。このため、本器に接続する機器の伝送速度は 50 bps 以下である必要があります。もし、50 bps を超える伝送速度の機器を接続すると、本器の内部で通信パルス幅を広げますので通信は正常に行えません。

### ・ 本器の設定

本器には、出力電流端子（T1、T2）と入力測定端子（T3、T4）が前面パネルにあります。これらの端子は通常 T1 と T2、T3 と T4 を短絡して使用します。また、テストスイッチ（TEST SW）は OFF にして下さい。

### ・ 専用回線との接続

本器に接続可能な専用回線は符号品目 50 bps ですので注意して下さい。また、専用回線への落雷による破損を防止するため、必ずテレメータ用避雷器（形式：MDP-MFA など）を接続して下さい。また、供給電源にも電源用避雷器（形式：MA-100 など）の接続をおすすめします。

本器はアースリターン方式により双方向通信が可能となっています。このため、接地が不十分な場合は通信異常が発生し、入出力の信号伝送ができなかったり、伝送に多くの時間を必要とすることがあります。これらを防止するため、通信用に独立して接地線を設けることをおすすめします。

### ●入出力電流の確認

#### ・ 出力電流の確認

前面パネルの T1 と T2 の短絡を外し、ここに直流電流計を接続することにより出力電流が測定できます。

#### ・ 入力電流の確認

前面パネルの T3 と T4 の短絡を外し、ここに直流電流計を接続することにより入力電流が測定できます。電流確認後、必ず T1 と T2、T3 と T4 が短絡している状態に戻して下さい。

- ・ 本器は入出力に定電流回路を内蔵しています。

このため入出力電流の調整は必要ありません。

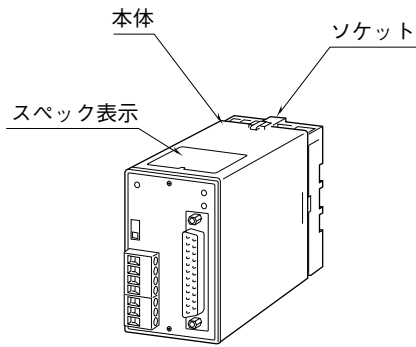
### ●テストスイッチ（TEST SW）の機能

テストスイッチを ON にすると本器の送出電流が 20 mA に固定されます。（テストスイッチが OFF で本器に接続している機器から入力がない状態では送出電流は -20 mA となります。）

注) 専用回線との接続は、工事担任者またはその監督の下で行って下さい。

（SG 端子を必ず 100 Ω 以下で接地して下さい。）

## 各部の名称



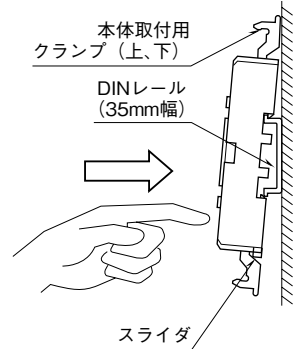
## 取付方法

ソケットの上下にある黄色いクランプを外すと、本体とソケットを分離できます。

### ■DIN レール取付の場合

ソケットはスライダのある方を下にして下さい。ソケット裏面の側フックを DIN レールに掛け下側を押しして下さい。

取外す場合はマイナスドライバーなどでスライダを下に押し下げその状態で下側から引いて下さい。

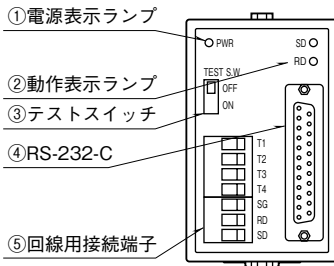


ソケットの形状は機種により多少異なることがあります。

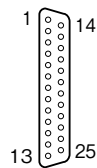
### ■壁取付の場合

外形寸法図を参考に行ってください。

## 前面パネル図



### ■RS-232-Cインタフェース



略号	ピン番号	機能	説明
FG	1		(未接続)
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ
RS	4	送信要求	送信要求の信号
CS	5	送信可	本器へのデータ送信許可
DR	6	データセットレディ	送受信可能信号
SG	7	信号用アース	信号用アース
CD	8	キャリア検出	キャリア受信中信号
ER	20	端末装置レディ	本器の送受信可能信号

### ■動作表示ランプ

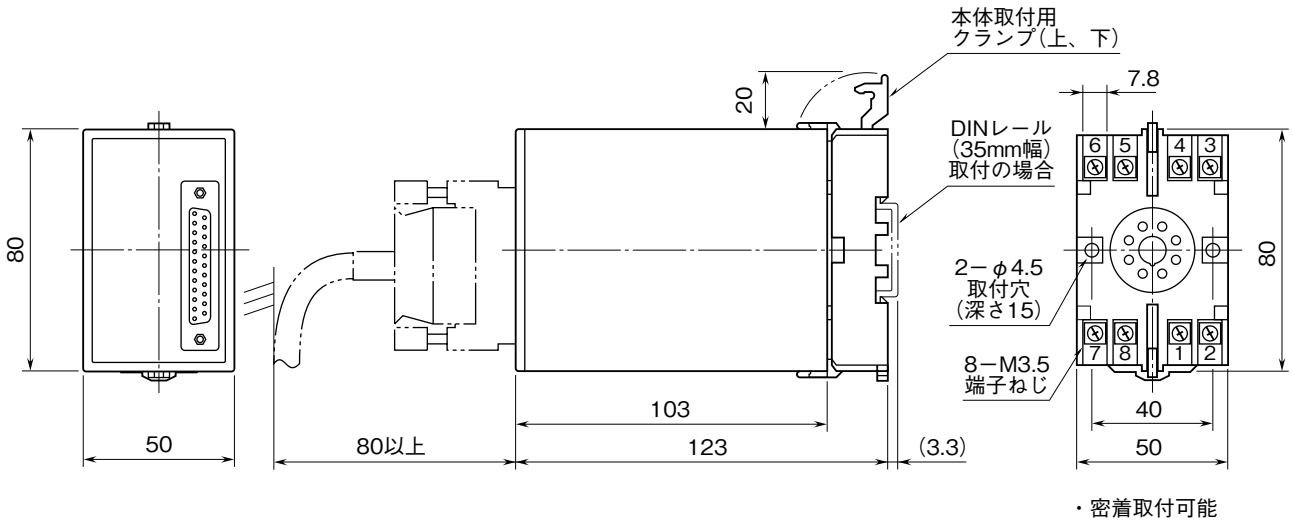
SD : 送信データ表示

RD : 受信データ表示

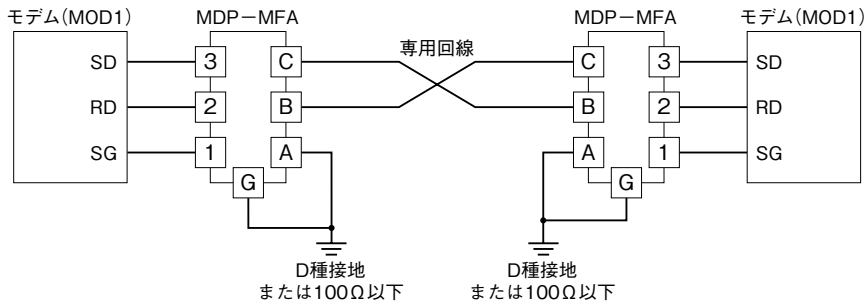
## 接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

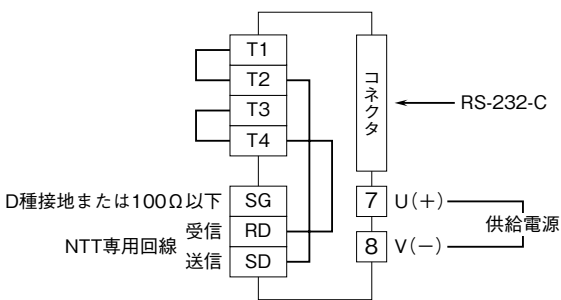
### 外形寸法図 (単位 : mm)



### 結線要領図



### 端子接続図



## 配 線

■端子ねじ  
締付トルク : 0.8 N・m

■コネクタ形ユーロ端子台 (回線)  
適用電線 : 0.2 ~ 2.5 mm<sup>2</sup>  
剥離長 : 7 mm

## 雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意しております。併せてご利用下さい。

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。